

ある日もしもボックスで魔法の世界をつかってしまったのび太。そこには元の世界と同じように、しずちゃん、スネ夫、ジャイアンが存在するが、のび太だけはうまく魔法を使えない。そんなとき、魔法を自由にあやつる少女・美夜子とその父の満月博士に出会う。彼の研究によると、魔界星が地球侵略を企てているらしい。平和な世界が恋しくなったのび太とドラえもんは現実の世界に戻ろうとするが、ママにもしもボックスを捨てられて帰れなくなってしまう……。やがて、魔界星はどんどん近づき、地震や異常気象が起きはじめる。運命に選ばれし戦士たちが、いま立ち上がる！はたしてのび太たちは地球の危機を救えるのか！？

ドラえもん

のび太の魔界大冒険

○旧作の良いところ

- ・あべこべクリームを出すまでのシーンがわざとらしくない
(原作と新作はのび太があべこべクリームの効果を寝言で言う)
- ・ジャイアンの音痴っぷりがすばらしい
(ジャイアンの歌う「ぼくドラえもん」は本当に音が外れている)

○旧作の欠点・疑問点

- ・カットしたことによって生じる説明不足、唐突さ
例：魔界歷程を木のうろに隠したことを聞いた描写がないのに木のうろを探す
(おそらく雲の上で説明を受けたものと思われる)
異常気象の話が少なく印象に残りにくい
- ・BGM が場面と合っていないようなところや、突然切れるところがある
- ・方位磁針の使い方がおかしい
(北北西に進むのに針(白い方だからたぶん S 極)が指した方向に進む)



○原作の疑問点

- ・もしもボックスの作るパラレルワールドとはどういう存在なのか？
(もしもの世界を体験する道具、新たにパラレルワールドを創る、無数に存在するパラレルワールドの中で希望に近い世界と入れ替える、など複数の描写がある)
- ・タイムマシンはパラレルワールド間を行き来できるのか？
- ・魔法世界においてドラえもんやドラミちゃんはどのように認識されているのか？（ゴーレム？）
- ・科学の代わりに魔法が発展した割には街の景観が科学世界そのまますぎるのでは？
(使用方法の違いはあれど掃除機やテレビなども存在している)



○新作の良いところ

- ・原作、旧作の矛盾点の解消
例：石ころぼうし→モーテン星
石ころぼうしをかぶると姿、音、匂い全て気にならなくなるはずなのに、声が聞こえたり匂いで居場所がばれたりする
(「帰らずの原」のカットは、方角などの矛盾を避けるためなのか、単に尺が足りなかったのかなのか、どちらかは不明。だが追跡方法が合理的になっているのは良いところだと思う)
- ・旧作でカットされた、もしもボックスを思いつまでのシーンが復活している
- ・世界の終わりという雰囲気がよく出ている
- ・月が持つ特別な力についての設定が追加されている

○新作の欠点・疑問点

- ・魔界をあまり冒険していない
(せめて人魚のところはほしかった。ジャイアン之歌が聴きたかった)
- ・ジャイアン之活躍が減った
- ・芸能人を声優として起用するのはどうだろうか？
- ・「7人」之魔法使い？ (全員で8人じゃないのか)

